

プレスリリース [令和 8 年 10 月 5 日]

(計 2枚)

【国内初※】救急隊による新たな除細動戦略 「DSED・VC」実証研究を開始 研究概要の説明及び DSED・VC の実演を行います

加賀市消防本部では、通常の電気ショックを繰り返しても心室細動(VF)が持続する「難治性心室細動」に対し、二重連続電気ショック(DSED)及びベクトルチェンジ(VC)を導入し、その実装可能性と安全性を検討する実証研究を開始しました。本研究は、石川県メディカルコントロール協議会の倫理審査による承認を受け、令和 8 年 9 月 9 日から加賀市消防本部管内で運用を開始しています。

海外では DSED・VC による生存退院率等の改善が報告されていますが、日本の病院前救護では実施経験や臨床データが十分ではありません。本研究を通じ、日本の救急体制に適した安全な運用方法を検討し、病院前救護の質の向上につなげることを目指します。

つきましては、本研究の概要説明及び DSED・VC の実演を下記のとおり行います

記

1. 日 時 令和 8 年10月15日(木) 10時00分～(約 40 分)
 2. 場 所 加賀市消防本部 屋内訓練室
 3. 内 容 (1)研究概要説明
(2)DSED・VC の説明
(3)救急隊・消防隊による実演
(4)質疑応答
 4. その他 実演は訓練用人形を使用します。
取材を希望される場合は、事前に下記担当までご連絡ください。
-

二重連続電気ショック(DSED)とは

2 台の除細動器を使用し、異なる方向から連続して電気ショックを行う方法です。

ベクトルチェンジ(VC)とは

電極パッドの位置を変更し、心臓を通過する電流の方向を変えて電気ショックを行う方法です。

【研究代表者 コメント】

金沢大学医薬保健研究域医学系 救急・災害医学分野 教授 岡島 正樹
「救命のために、日々進歩する医学的知見を積極的に取り入れていこうとする取り組みです。加賀市消防本部が、より良い救命を目指して日々努力している姿を、多くの方に知っていただきたいと思います。」

【研究概要】

研究名：院外心停止における難治性心室細動に対する二重連続電気ショックおよびベクトルチェンジの実装可能性と安全性の探索的検討

研究代表者：金沢大学医薬保健研究域医学系 救急・災害医学分野 教授 岡島 正樹
研究分担者：加賀市消防本部 救急救命士 修士(医科学) 河中 拓郎

実施体制：1 年目は加賀市消防本部管内で実施し、2 年目以降は石川県内の協力消防機関への拡大を目指します。

※国内初：消防機関の救急隊が、難治性心室細動に対する DSED 及び VC を病院前救護に導入し、実装可能性・安全性を前向きに検討する研究として、国内の学術論文・学会報告等の公開情報を当消防本部で確認した範囲(令和 8 年9月現在)。

本件へのお問合せ先
加賀市消防本部 消防署 担当：久保田、河中 TEL 0761-72-0119